

政策04 安全で快適な都市生活の充実

評価項目	評価
施策07 消防・救急の充実	概ね適切

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p><b>【施策の環境変化】</b></p> <p>○ 消防及び救急環境の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅の高層化及び構造変化による屋外への傷病者搬送困難事案の増加</li> <li>・AED等の普及により応急手当講習会開催の増加</li> <li>・凍結路面での自己転倒等冬季型事故が増加傾向</li> </ul> <p>○ 消防行政環境の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防広域化への国の動向</li> <li>・消防救急無線デジタル化への移行</li> </ul> <p>○ 法改正による環境変化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅用火災警報器の設置義務化に関し、平成23年5月31日をもって、既存住宅に関する設置猶予期限が切れた。</li> </ul>	<p>デジタル化に関して、自宅から救急を要請するだけではなく、携帯電話で救急を要請する人も増えているのではないかと。単身の親に何かあった際に遠隔地であっても携帯電話等で事態を把握でき、救急を要請するような手法も取られてきている。そのように救急要請の手法が変化してきていることが読み取れることも大切なのではないかと。</p>	<p>指摘のような通報内容も実際にあり、高齢者対策にも重点を置いているので、その部分がわかる記載を検討する。</p>
	<p>「・住宅の高層化及び～」と「・凍結路面での～」という記載は環境変化の“原因”であるのに対して、「・AED等の普及により～」という記載は、環境変化の“結果”である。この両者を現状のように箇条書きで並列に記載するのではなく、繋がりのあるような文章表現にした方がよいのではないかと。</p>	<p>表現を検討する。</p>
	<p>現状の箇条書きのような表現ではなく、様々な活動に関する文言等を加えて文章として記載することで、読み手にとって理解しやすい記載を検討してはどうか。</p>	<p>表現方法を検討する。</p>

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p><b>【施策の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急車の適正利用を訴え、出動件数の抑制をはかる必要がある。</li> <li>・住宅用火災警報器の既存住宅への設置猶予期限が切れたものの、設置率は100パーセントになっていないことから、焼死者事故防止のためにも、全戸設置に向けた更なる設置促進活動が必要である。</li> </ul> <p>また、設置済み世帯に対し、電池切れ等維持管理に関する啓発が必要である。</p>	<p>例えば「不適切利用が増加傾向にある。これは市民への啓発によって減らしていく必要がある。」というような課題があれば、市民への協力要請として効果的ではないか。自分たち市民の課題でもあると読めるような表現の工夫を検討していただきたい。</p>	<p>表現を検討する。</p>
<p><b>【施策の達成状況】</b></p> <p>達成状況の指標は、市民アンケート調査により取得しているものであるが、高い水準を保っており順調に推移している。</p>	<p>全体を通して記載が指標の解説に留まっているように思う。たくさんの事業や活動をしているにも関わらず、ここで記載がないのは勿体ない。指標の数値をわざわざ記載するのではなく、どのような事業を行ったか等に深く言及した方が良いのではないか。</p> <p>江別市は全国的な比較の中でも火災報知機の設置率は高く、これは啓発をしっかりとしたことの効果であると思う。このような江別市の良さを達成状況の中で表現するとより良いのではないか。</p>	<p>実際の取り組み状況も踏まえて記載を検討する。</p>

政策04 安全で快適な都市生活の充実

評価項目	評価
施策07 消防・救急の充実 基本事業01 防火機能の充実と啓発	概ね適切

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p><b>【達成状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消火器を常備し、取り扱いのできる市民割合は、ほぼ横ばいではあるものの、前回（平成21年度）の水準を僅かに上昇することが出来ており、今後とも継続して市民啓発をしていく必要がある。</li> <li>・住宅用火災警報器の設置率については、前回（平成21年度）の結果より26.8%上昇し、74.6%となり、全国平均71.1%（平成23年6月時点）を上回ることが出来たが、今後とも全戸設置に向けて継続して市民啓発していく必要がある。</li> </ul>	<p>基本事業の目的の中に「市民が防火・消火に対する正しい知識を身につける」とあるが、達成状況では指標の動向の説明だけで、その部分には触れられていない。防火訓練の指導等も達成状況の中で記載していただきたい。</p>	<p>検討する。</p>

担当部署の評価内容	委員の意見
<p><b>【意見・提言】</b></p>	<p>活動指標として、火災件数、火災による死傷者数などを参考に記載した方が市民からするとわかりやすいように思う。</p>

政策04 安全で快適な都市生活の充実

評価項目	評価
施策07 消防・救急の充実 基本事業02 救急救命体制の充実	概ね適切

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p><b>【達成状況】</b> ・心肺停止傷病者へのバイスタンダーによる心肺蘇生法実施率は、後期目標の50.5%を上回っており、東日本大震災の影響から救命講習会を受講する市民が増えている感がある。今後も救命の裾野を広めるため、若年層への普及啓発を積極的に行う事が必要と考えられる。</p>	<p>「バイスタンダー」という言葉には、読んだ人が正しく理解するために注釈など工夫が必要ではないか。</p>	<p>表現を検討する。</p>
	<p>施策03-05「高齢者福祉の充実」の中の事業に「高齢者・身障者世帯緊急通報システム設置費」があり、内容としては「緊急時に独居高齢者等が消防本部へ通報を行うための端末設置等」とあり、これは非常に評価できる部分だと思うので、これに関する記載を盛り込んだ方がよいのではないかと。そうすることで、福祉・病院医療・消防が連携して取り組んでいることが理解できるのではないかと。</p>	<p>他にも聴覚障害のある方に対してFAXやインターネットで通報を受ける対応をしているので、その様な内容も記載できないか検討する。</p>
	<p>「～を受講する市民が増えている感がある。」とあるが、「～増えている」と断定してよいのではないかと。また、後段に「～行うことが必要と考えられる。」とあるが、事業なのだから「～行う必要がある。」としてよいのではないかと。</p>	<p>文言の整理を検討する。</p>
<p><b>【成果指標】</b> 応急手当ができる市民割合</p>	<p>括弧書き等でAEDを使用できる市民割合だということを補記した方がよいのではないかと。そうすることで、講習を受ける目的が明確になる。</p>	<p>検討する。</p>

担当部署の評価内容	委員の意見
<b>【成果指標】</b> 救命講習会の回数	個人的には活動指標としての位置づけにした方が良いのではないかと思います。その上で、参加のべ人数を成果指標とする方が、より適切なのではないかと。